

定住自立圏

中心市宣言書

平成 21 年 3 月 18 日

備前市

定住自立圏中心市宣言

人は、太古より自然の恵みの中で、お互いに支え合い、地域の魅力ある歴史や文化を生みだし、その生命を受け継いできました。

すべての人は、自然界の一員であり、豊かな自然環境の中で、笑顔で安心して暮らせる社会に住む権利があります。

地方は今、少子・高齢化と人口減少、都市部への人口流出、ライフスタイルの多様化、地域経済の低迷など、単独自治体では解決が困難な課題に直面しています。地方自治体は、これらの課題をしっかりと自覚し、住民と協働してこの荒波を乗り越え、自立した地域社会を形成していかなければなりません。

本市は、岡山県の南東部、兵庫県との県境に位置し、奈良時代には古代山陽道が整備され、海上交通の発達とあいまって、備前国と播磨国との交通の要衝としてその役割を果たしてきました。以来、近接自治体とは県内、県外とも地理的、歴史的なつながりが強く、現在も、消防防災、観光、高齢者福祉などの分野において連携した取り組みを行っています。さらに近年では、急速に進む情報化やモータリゼーションの進展により、医療、買い物、通勤、通学、レジャーなど、人々の求めるニーズや生活圏は行政区域を越えて拡大しており、行政間の結びつきやネットワークの強化がますます求められています。

そのような中、自治体が協定の締結によって広域圏を形成し、役割を分担し、連携・協力しながら暮らしに必要な生活機能を確保し、活力ある地域を創造していくという国が掲げる定住自立圏構想は、圏域内の住民に大きな利益をもたらすものと考えます。

本市は定住自立圏の中心市として、赤穂市、上郡町を始めとする周辺自治体及び圏域住民とともに、知恵をしばり、地域がもつ魅力や民間活力を最大限に活かしながら、定住のために必要な機能を圏域全体で確保し、人と自然にやさしく、自信と誇りを持ち、活力に充ちた「笑顔あふれるまち」の創造を行うことで、圏域内への定住を力強く推進し、もって圏域の発展と住民福祉の向上を目指していくことを、ここに宣言します。

平成21年3月18日

備前市長 西岡 憲 康

1 圏域マネジメントとサービスの提供

人材の確保・育成を行うなど圏域全体のマネジメント等に対し、中心となって取組み、周辺自治体とともに定住のための魅力ある圏域の創造を目指します。又、圏域内住民には本市の都市機能の利用などをはじめとするサービスの提供を行います。

2 都市機能の集積状況及び利用状況等

本市には、住民の生活機能を確保し、地域の魅力を向上させていく基盤となるべき都市機能について、一定の集積はありますが、隣接する赤穂市の都市機能で補うべき分野もあります。そのため本市は、圏域における兵庫県の中心的都市である赤穂市と連携し、中心市都市機能の役割分担を図るとともに、それぞれの機能強化を図りながら、圏域全体の住民が等しく利用できるよう努めます。

本市及び赤穂市における都市機能の集積状況は、概ね以下のとおりです。

分野	都市機能	備前市	赤穂市
医療・福祉	公立病院	市立備前病院 市立日生病院 市立吉永病院	市立赤穂市民病院
	民間病院	草加病院 木村病院	赤穂中央病院 赤穂はくほう会病院 赤穂記念病院 赤穂仁泉病院
	福祉施設	特別養護老人ホーム 養護老人ホーム 有料老人ホーム 高齢者グループホーム 放課後児童クラブ 障害者地域活動支援センター 勤労者センター リフレセンター	赤穂市総合福祉会館 特別養護老人ホーム 養護老人ホーム 老人福祉センター 介護老人保健施設 市立知的障害者授産施設 市立児童館
教育	大学		私立関西福祉大学
	高校	県立備前緑陽高等学校 市立片上高等学校（定時制）	県立赤穂高等学校
	特別支援学校	県立東備養護学校	県立赤穂特別支援学校
	専門学校		西はりま医療専門学校
	学校給食施設	学校給食共同調理場	市立学校給食センター
	図書館	図書館本館1 分館2 移動図書館（自動車文庫）	市立図書館
	青少年教育施設	県立青少年教育センター 関谷学校	市立野外活動センター
文化・観光・娯楽・健康スポーツ・情報	文化施設	市民センター 歴史民俗資料館 加子浦歴史文化館 備前焼伝統産業会館 岡山県備前陶芸美術館 国宝 旧関谷学校 藤原啓記念館（備前焼） BIZEN 中南米美術館	赤穂市文化会館 市立歴史博物館 市立民俗資料館 市立海洋科学館 市立美術工芸館 坂越まちなみ館 赤穂織通工房 赤穂城跡

	健康スポーツ施設	備前市総合運動公園 備前市日生運動公園 健康増進温浴施設ヘルスパ B&G海洋センター 備前柵原自転車道線（片鉄ロマン 街道・広域サイクリングロード）	城南緑地運動施設 市民総合体育館 千種川河川敷緑地
	観光・娯楽施設	古代体験の郷 まほろば 漁村型リゾート施設かぜまち 郷土料理館もやい茶屋 八塔寺ふるさと村 フルーツパーク（体験型農業公園） 五味の市、真魚市（魚市）	県立赤穂海浜公園 市立御崎レストハウス 花岳寺 大石神社 しおさい市場 赤穂御崎温泉
	海水浴場	外輪海水浴場（頭島） 宮の下海水浴場（大多府島）	丸山県民サンビーチ 唐船サンビーチ 福浦海水浴場
	情報施設	CATV ひなビジョン	
交通	公共交通	JR 赤穂線 7 駅 JR 山陽本線 2 駅 路線バス 定期船 日生諸島 フェリー 備前 小豆島	JR 赤穂線 4 駅 JR 山陽本線 1 駅 路線バス コミュニティバス「ゆらのすけ」
	高速道路	山陽自動車道 備前 IC	山陽自動車道 赤穂 IC
	都市幹線道路	国道 2 号 国道 250 号 国道 374 号 県道寒河本庄岡山線（ブルーライン）	国道 2 号 国道 250 号 国道 373 号
	港湾施設	東備港 小型船舶係留施設	赤穂港 小型船舶係留施設
	自動車教習所	備前自動車備前教習所	赤穂自動車教習所
	消費・金融	大規模店(1,000㎡以上)	6 店舗
金融機関等		銀行 18 店舗 郵便局 13 箇所 簡易郵便局 5 箇所	銀行 8 店舗 郵便局 8 箇所 簡易郵便局 6 箇所
その他	工業技術関係施設	岡山セラミックスセンター 備前陶芸センター	

本市及び赤穂市における都市機能の利用状況は次のとおりです。

- 1 備前市立備前病院の利用状況

(外来患者)

(単位：人)

区分	外来患者数	割合
備前市	45,270	84.64%
瀬戸内市	5,654	10.57%
岡山市	1,164	2.18%
赤穂市	3	0.01%
上郡町	2	0.00%
その他自治体	1,392	2.60%
全外来患者数	53,485	100%

注) 平成 19 年度患者数

(入院患者)

(単位：人)

区分	入院患者数	割合
備前市	23,266	84.94%
瀬戸内市	2,895	10.57%
和気町	649	2.37%
赤穂市	0	0.00%
上郡町	0	0.00%
その他自治体	580	2.12%
全入院患者数	27,390	100%

注) 平成 19 年度患者数

- 2 備前市立日生病院の利用状況

(外来患者)

(単位：人)

区分	外来患者数	割合
備前市	59,083	97.18%
赤穂市	827	1.36%
岡山市	163	0.27%
上郡町	118	0.19%
その他自治体	605	1.00%
全外来患者数	60,796	100%

注) 平成 19 年度患者数

(入院患者)

(単位：人)

区分	入院患者数	割合
備前市	29,125	96.10%
瀬戸内市	253	0.83%
赤穂市	121	0.40%
上郡町	121	0.40%
その他自治体	687	2.27%
全入院患者数	30,307	100%

注) 平成 19 年度患者数

- 3 備前市立吉永病院の利用状況

(外来患者)

(単位：人)

区分	外来患者数	割合
備前市	71,664	74.20%
和気町	21,080	21.83%
岡山市	1,128	1.17%
赤穂市	579	0.60%
上郡町	483	0.50%
その他自治体	1,648	1.70%
全外来患者数	96,582	100%

注) 平成 19 年度患者数

(入院患者)

(単位：人)

区分	入院患者数	割合
備前市	12,662	72.60%
和気町	4,172	23.92%
岡山市	237	1.36%
赤穂市	7	0.04%
上郡町	10	0.06%
その他自治体	353	2.02%
全入院患者数	17,441	100%

注) 平成 19 年度患者数

赤穂市民病院の利用状況

(外来患者)

(単位：人)

区分	外来患者数	割合
赤穂市	182,260	63.52%
備前市	13,488	4.70%
上郡町	32,671	11.39%
その他自治体	58,511	20.39%
全外来患者数	286,930	100%

注)平成19年度患者数

(入院患者)

(単位：人)

区分	入院患者数	割合
赤穂市	63,104	51.45%
備前市	6,416	5.23%
上郡町	21,450	17.49%
その他自治体	31,682	25.83%
全入院患者数	122,652	100%

注)平成19年度患者数

上記のとおり、赤穂市民病院への本市からの利用者は約5%、上郡町からは11~18%に達し、同病院が圏域内で中核的役割を果たしています。

高等学校の通学者の状況

(岡山県立備前緑陽高等学校)

区分	通学者数	割合
備前市	172	37.8%
岡山市	193	42.4%
瀬戸内市	76	16.7%
和気町	10	2.2%
赤磐市	3	0.7%
美咲町	1	0.2%
通学者計	455	100%

注)平成21年2月末日現在

(市立片上高等学校) 定時制

区分	通学者数	割合
備前市	24	28.6%
岡山市	31	36.9%
瀬戸内市	16	19.0%
和気町	8	9.5%
赤磐市	5	6.0%
通学者計	84	100%

注)平成21年2月末日現在

3 連携を想定する取組

圏域全体の活性化を通じて人口の定住を図るという観点から、周辺市町と連携することを想定する取組は以下のとおりです。

生活機能の強化のための取組み

a) 医療

- ・地域医療の充実、確保のため、圏域内での同一医療サービスの提供や圏域内で不足する医師の確保、医療関係施設や機能等の整備。

b) 教育

- ・教育、文化、スポーツ施設及び学校給食施設等の圏域内住民の相互利用やその広域的活用と施設整備。

c) 産業振興

- ・観光振興による地域産業活性化のため、地域の魅力を活かした新たな観光ルートの開拓、PRによる都市部からの人の流れの創出。
- ・地場産業(農林漁業、工業)を活かした地域産品の発掘とブランド化。
- ・圏域内自治体がもつ魅力や交通網の利便性を活かし、圏域内への企業誘致を協力実施。また、受け入れ体制の整備。

d) 環境対策

- ・関係自治体と取り組むゴミ減量化、資源化の推進。
- ・太陽エネルギー、BDF（廃食油等バイオディーゼル燃料）、木質バイオマス等クリーンエネルギーの導入促進。
- ・省エネルギー型の機器整備促進や通勤時ノーマイカーの推進、啓発活動。

結びつきやネットワークの強化のための取組み

a) 地域公共交通

- ・地域公共交通の利便性向上と運行維持確保。

b) デジタル・ディバイドの解消に向けた ICT インフラ整備

- ・地上デジタル放送の民放チャンネル区域外送受信。
- ・日常生活利便、防災連絡手段、ブロードバンド基盤（高速データ通信）としての携帯電話網充実。

c) 道路等の交通インフラの整備促進

- ・生活幹線道路の整備や生活交通に必要なインフラ整備。

d) 地域の生産者・消費者等の連携による地産地消

- ・地産地消の拡大に向けた圏域内での取組推進、圏域内外での地場製品の PR 実施。

e) 地域内外の住民との交流・移住促進

- ・圏域内の魅力を都市部へ向け発信するためのイベント等の開催。
- ・自治体ホームページや広報紙、ケーブルテレビ「ひなビジョン」などの活用による圏域内外への情報発信と情報共有。
- ・圏域内の青少年教育施設や観光施設、体験施設等の有効活用による圏域住民と都市住民との交流促進。

圏域マネジメント能力の強化のための取組み

a) 中心市等における外部からの行政及び民間人材の確保

- ・専門的知識を有する外部人材の確保と圏域内人材の育成。

b) 圏域内市町の職員等の交流

- ・圏域内職員等の交流促進による連携強化と職員等の能力向上。

4 人口定住のために連携する意思を有する市町村

赤穂市、上郡町

5 通勤通学割合が 0.1 以上である市町の名称

瀬戸内市、和気町

備前市に対する通勤通学割合

周辺市町からの状況

(単位：人)

区分	常住就業者・通学者数		割合
	(自宅除く)	うち備前市での従業・通学者数	
瀬戸内市	17,379	1,796	10.3%
和気町	6,905	1,128	16.3%

注) 平成 17 年国勢調査数値